

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公表番号】特表2006-508710(P2006-508710A)

【公表日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2004-539191(P2004-539191)

【国際特許分類】

A 6 1 L 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 29/00 E

A 6 1 K 49/00 Z

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 35/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年7月13日(2009.7.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項30

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項30】

下記一般式Iの両性イオンモノマーと、液状モノマー混合物として混和性コモノマーとを含むエチレン性不飽和モノマーが連続液体溶媒中に分散して分散相を形成する工程、

開始剤を添加して該分散相中でラジカル重合を開始する工程、

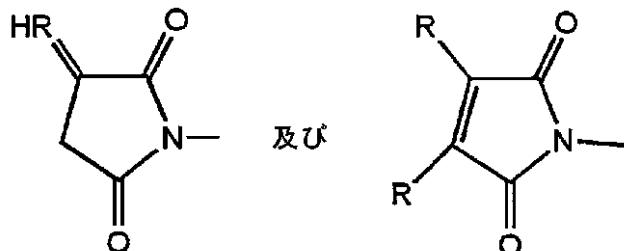
及び該分散相から形成された前記ポリマー粒子を回収する工程、

を含むことを特徴とする逆懸濁重合法であって、

Y B X

I

式中、Yは、エチレン性不飽和基 $H_2C=CR-CO-A-$ 、 $H_2C=CR-C_6H_4-A^1-$ 、 $H_2C=CR-CH_2A^2$ 、 $R^2O-CO-CR=CR-CO-O$ 、 $RCH=CH-CO-O-$ 、 $RCH=C(COO\text{R}^2)CH_2CO-O$ 、



から選択されるエチレン性不飽和基であり、

Aは、-O-又はNR¹であり、

A¹は、結合、(CH₂)₁A²、及び(CH₂)₁SO₃-から選択され、Iは、

1～12であり、

A^2 は、結合、-O-、O-CO-、CO-O、CO-NR¹-、-NR¹-CO、O-CO-NR¹-、NR¹-CO-O-から選択され、

Rは、水素又はC₁~C₄アルキルであり、

R^1 は、水素、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、又は BX であり、

R^2 は、水素、又は、 $C_1 \sim C_4$ アルキルであり、

Bは、結合、又は1つ以上のフッ素置換基を任意選択により含有する直鎖分岐状アルカンジイル、アルキレンオキサアルキレン、もしくはアルキレン（オリゴオキサルキレン）基であり。

Xは、両性イオン基であることを特徴とする逆懸濁重合方法。

【譯訛訂正?】

【訂正對象畫類名】明細畫

【訂正對象項目多】0037

【訂正方法】変更

【訂正方法】 【訂正の内容】

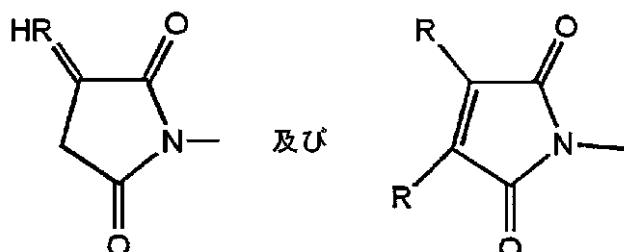
【00271】

一般的に、この両性イオン基は、下記一般式 I のモノマーを含むエチレン性不飽和モノマーから形成されるマトリクスピリマー又はコーティングポリマーのいずれかのポリマー上のペンドント基であり。



式中、Yは、 $H_2C = CR - CO - A -$ 、 $H_2C = CR - C_6H_4 - A^1 -$ 、 $H_2C = CR - CH_2A^2$ 、 $R^2O - CO - CR = CR - CO - O$ 、 $RCH = CH - CO - O -$ 、 $RCH = C(COOOR^2)CH_2CO - O$ 、

【化 6】



から選択されるエチレン性不飽和基であり、Aは、-O-又はNR¹であり、A¹は、結合、(CH₂)_IA²、及び(CH₂)_ISO₃-から選択され、Iは、1~12であり、A²は、結合、-O-、O-CO-、CO-O、CO-NR¹-、-NR¹-CO、O-CO-NR¹-、NR¹-CO-O-から選択され、Rは、水素又はC_{1~4}アルキルであり、R¹は、水素、C_{1~4}アルキル、又はBXであり、R²は、水素又はC_{1~4}アルキルであり、Bは、結合、又は1つ以上のフッ素置換基を任意選択により含有する直鎖分岐状アルカンジイル、アルキレンオキサアルキレン、又はアルキレン(オリゴオキサルキレン)基であり、Xは、両性イオン基である。